

令和元年度

# 交通事故相談の概要

奈良県交通事故相談所

## は じ め に

交通事故相談所の運営につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年の県内の交通事故発生状況は、前年に比べ、人身事故件数、負傷者数は大幅に減少しました。また、死者数については、戦後統計の残る昭和22年以降最少の数となり、死者数が最多であった昭和45年の156人と比較し4分の1以下となっています。

しかし、亡くなられた方全体に占める高齢者の方の割合が依然として高い状況にあり、今後も県内の交通情勢はさらに厳しい状況になると予測されます。

そこで、県では、交通事故被害者等救済事業の一環として、交通事故当事者やその家族が抱える損害賠償や示談の仕方など、様々な問題や悩みを被害者等その家族からの相談に応じ、これらの解決についての指導・助言を行うため、県庁舎内に常設の交通事故相談所を設置しています。

また、県内4ヶ所に定期巡回の交通事故相談所を開設し相談業務を行っております。

近年の社会、交通環境の変化なども反映して、相談内容は複雑・多様化、また高度化してきていますが、当相談所といたしましては、相談者に対してよりの確にアドバイスできるよう、相談員自らが日々研鑽に努め、「親切・丁寧」を信条として相談に応じております。

今後とも関係各位のご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

本書は、令和元年度中に当相談所で取り扱った交通事故相談の概要を取りまとめたものであり、参考にしていただければ幸いです。

令和2年4月

奈良県交通事故相談所長  
(奈良県総務部知事公室安全・安心まちづくり推進課長)

末 武 正 之

# 目 次

はじめに

<b>1 相談業務の概要</b> -----	1
(1) 常設相談所・巡回相談所の開所と相談件数等 -----	1
(2) 相談者の状況 -----	2
(3) 相談の形式 -----	3
(4) 相談所を知った理由 -----	4
(5) 相談内容等 -----	5
① 項目別相談件数 -----	5
② 事故様態別相談件数 -----	6
③ 男女別相談件数 -----	6
④ 被害者年齢別相談件数 -----	6
⑤ 被害者損傷主部位別件数 -----	7
⑥ 事故発生から相談までの期間 -----	7
⑦ 巡回相談所別相談件数 -----	8
⑧ 市町村別交通事故相談受理件数 -----	9
<b>2 近年の交通事故発生状況</b> -----	10

# 1 相談業務の概要

## (1) 常設相談所・巡回相談所の開所と相談件数等

令和元年度は、県庁舎地下1階に相談所を常設するとともに、巡回相談所を県内4ヶ所で開設し、「損害賠償や示談の仕方」など交通事故当事者等の各種悩みの解決のため、相談業務を実施した。

期間中における相談件数は349件で、1日あたりの平均相談件数は1.8件であった。

相談所の設置場所及び開所日（令和元年度）

区分	設置場所	開所日及び開所時間		
常設	奈良県庁	月曜・火曜・木曜・金曜 (土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く) 8時30分～16時45分		
巡回	橿原市観光交流センター	毎月	第1火曜日	10時～15時
	御所市役所		第1木曜日	
	大淀町役場		第2火曜日	
	大和高田市中央公民館		第3木曜日	

開所日数及び相談件数

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	190	16	15	16	17	17	15	16	16	16	15	14	17
うち巡回	47	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
相談件数	349	28	24	22	33	24	25	34	42	34	22	26	35
常設	316	23	23	19	29	24	22	31	36	32	20	25	32
巡回 (面接のみ)	31	5	1	3	2	0	3	3	6	2	2	1	3
一日平均	1.8	1.8	1.6	1.4	1.9	1.4	1.7	2.1	2.6	2.1	1.5	1.9	2.1

※ 一日平均の相談件数は、1ヶ月の相談件数を相談開所日で除したものの。

## (2) 相談者の状況

相談者は、被害者側が非常に多く、相談件数の76.2%を占めている。

その内訳を見ると「被害者本人」が被害者相談全体の68.4%であるが、被害者の「家族・親族」からの相談も29.7%となっており、交通事故は家族全体にまで影響を及ぼしていることが窺われる。

### 相談者別相談件数

区 分	合 計	被 害 者				加 害 者			
		計	本人	家族 親族	雇主 知人	計	本人	家族 親族	雇主 知人
相談件数	349	266	182	79	5	83	59	19	5
構成比	100.0	76.2	(68.4)	(29.7)	(1.9)	23.8	(71.1)	(22.9)	(6.0)
新規	179	125	83	38	4	54	37	14	3
構成比	100.0	69.8	(66.4)	(30.4)	(3.2)	30.2	(68.5)	(25.9)	(5.6)
継続	170	141	99	41	1	29	22	5	2
構成比	100.0	82.9	(70.2)	(29.1)	(0.7)	17.1	(75.9)	(17.2)	(6.9)

※ 構成比欄における（ ）内の数値は、被害者欄・加害者欄における構成割合。

### (3) 相談の形式

相談の形式は、「面接」と「電話」の2つがあり、面接による相談が27.5%、電話による相談が72.5%であり、電話による面接が大半を占めている。

このように面接よりも電話による相談が非常に多い状況であるが、相談者の相談内容を十分理解し、よりの確なアドバイスを行うためには、電話による相談よりも資料やメモ等を用いて説明できる面接の方が好ましいことから、当県では面接の相談率向上に努めたい。

形式別相談件数

(単位：件、%)

区 分	合 計	被害者	加害者	面 接			電 話		
				計	被害者	加害者	計	被害者	加害者
相談件数	349	265	84	96	73	23	253	192	61
構成比	100.0	75.9	24.1	27.5	(76.0)	(24.0)	72.5	(75.9)	(24.1)
新 規	179	124	55	33	25	8	146	99	47
構成比	100.0	69.3	30.7	18.4	(75.8)	(24.2)	81.6	(67.8)	(32.2)
継 続	170	141	29	63	48	15	107	93	14
構成比	100.0	82.9	17.1	37.1	(76.2)	(23.8)	62.9	(86.9)	(13.1)

※ 構成比欄における ( ) 内の数値は、面接欄・電話欄における構成割合。

#### (4) 相談所を知った理由

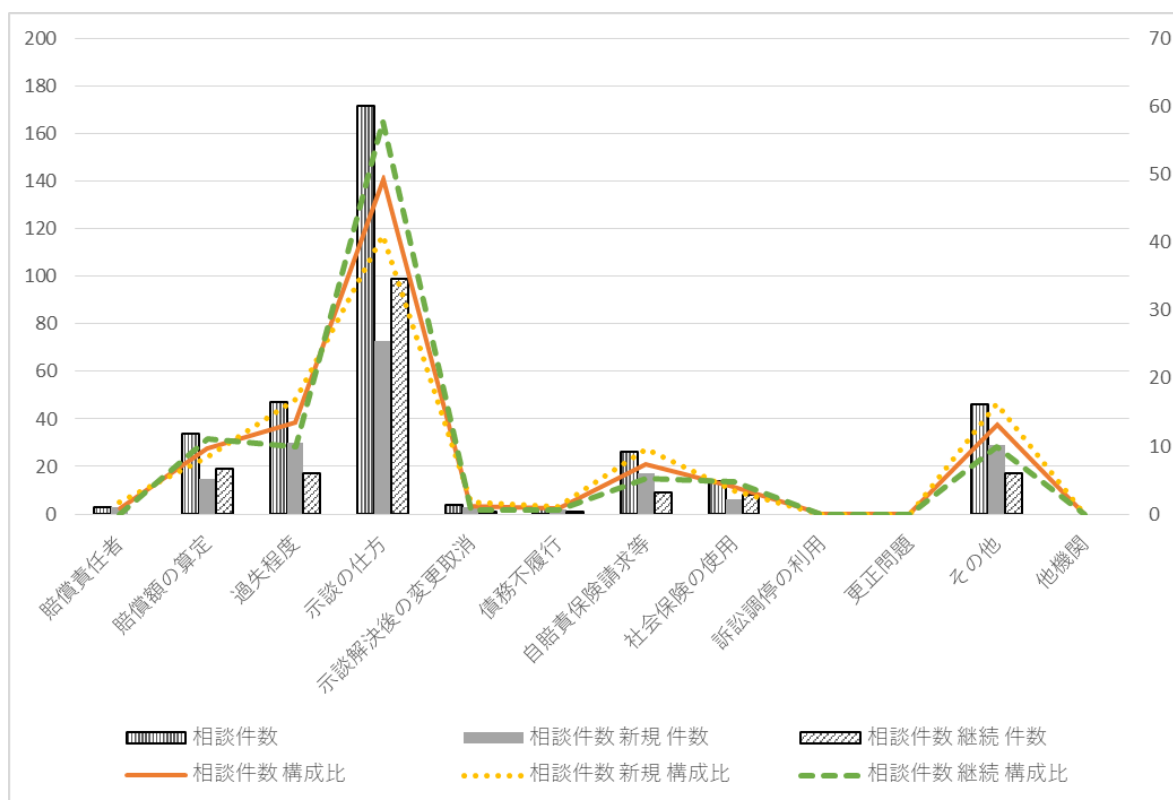
相談所を新規に利用する人は、県・市町村・警察での紹介で知った方が39.7%、県・市町村の広報誌を見て知った方が44.1%となっており、県・市町村等を通じて知った方が全体の約8割以上を占めている。

項 目	相 談 件 数	構 成 比
県・市町村・警察で聞いて	71 件	39.7%
県・市町村の広報誌を見て	79 件	44.1%
医療機関・保険会社で聞いて	8 件	4.5%
親戚・友人等に聞いて	14 件	7.8%
その他	7 件	3.9%
計	179 件	100.0%

※ 相談件数は、新規相談のみ。

## (5) 相談内容等

相談内容を項目別に見ると「示談の仕方」が、新規相談件数全体の41.0%を占めている。また継続しての相談においても「示談の仕方」が57.9%を占めており、同項目に対する不安や悩みが多いことが窺われる。



### ① 項目別相談件数

(単位：件, %)

項目	相談件数					
	構成比	新規		継続		
		件数	構成比	件数	構成比	
賠償責任者	3	0.9	3	1.7	0	0
賠償額の算定	34	9.7	15	8.4	19	11.1
過失程度	47	13.5	30	16.9	17	9.9
示談の仕方	172	49.3	73	41.0	99	57.9
示談解決後の変更取消	4	1.1	3	1.7	1	0.6
債務不履行	3	0.9	2	1.1	1	0.6
自賠償保険請求等	26	7.4	17	9.6	9	5.3
社会保険の使用	14	4.0	6	3.4	8	4.7
訴訟調停の利用	0	0	0	0	0	0
更正問題	0	0	0	0	0	0
その他	46	13.2	29	16.2	17	9.9
他機関	0	0	0	0	0	0
計	349	100.0	178	100.0	171	100.0



② 事故様態別相談件数

項目	計	被害の状況				不明
		死亡	重傷	軽傷	物損	
相談件数（件）	349	7	108	162	64	8
構成比（％）	100.0	2.0	30.9	46.4	18.3	2.3

③ 男女別相談件数

項目	合計	男	女	不明
相談件数（件）	179	108	70	1

※ 相談件数は、新規相談件数のみ。

不明欄の件数は、例えば相談者が友人の事故について相談した場合、当事者である友人の性別が不明な場合などを指す。

④ 被害者年齢別相談件数

区分	計	年齢							不明
		10歳 まで	11歳 ～ 20歳	21歳 ～ 30歳	31歳 ～ 40歳	41歳 ～ 50歳	51歳 ～ 60歳	60歳 以上	
相談件数	179	1	12	8	17	26	22	76	17
構成比	100	0.6	6.7	4.5	9.5	14.5	12.3	42.5	9.5
男性	108	1	10	6	9	15	9	51	7
構成比	100	0.9	9.3	5.6	8.3	13.9	8.3	47.2	6.5
女性	70	0	2	2	8	11	13	25	9
構成比	100	0.0	2.9	2.9	11.4	15.7	18.6	35.7	12.9
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※ 相談件数は、新規相談件数のみ。

⑤ 被害者損傷主部位別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
頭部	2	1	1	1	2	1	2	2	0	3	0	0	15
頸部	5	6	2	2	5	3	4	0	1	3	0	0	31
胸部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腹部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腰部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
腕部	1	0	1	3	1	0	0	1	0	0	1	0	8
脚部	1	1	0	0	2	1	3	2	1	0	2	2	15
複傷部	4	2	3	7	2	7	1	4	5	2	2	9	48
物損	1	5	3	5	2	1	4	6	2	2	4	5	40
不明	3	1	1	1	2	0	1	2	2	0	0	0	13
計	18	17	14	19	16	13	15	17	12	12	9	17	179

※ 相談件数は、新規相談件数のみ。

⑥ 事故発生から相談までの期間

経過期間	計	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上	不明
相談件数	179	72	33	37	15	8	3	3	8
構成比	100.0	40.2	18.4	20.7	8.4	4.5	1.7	1.7	4.5

※ 相談件数は、新規相談件数のみ。

⑦ 巡回相談所別相談件数

月 別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		合計
	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	被	加	
榿 原	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	9	2	11
御 所	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	2	7
大 淀	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	7	0	7
大和高田	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	5	1	6
計	5	0	1	0	3	0	2	0	0	0	1	2	3	0	4	2	2	0	2	0	1	0	2	1	26	5	31
合 計	5		1		3		2		0		3		3		6		2		2		1		3		31		31

※ 被：被害者 加：加害者

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月の大和高田市巡回相談は中止

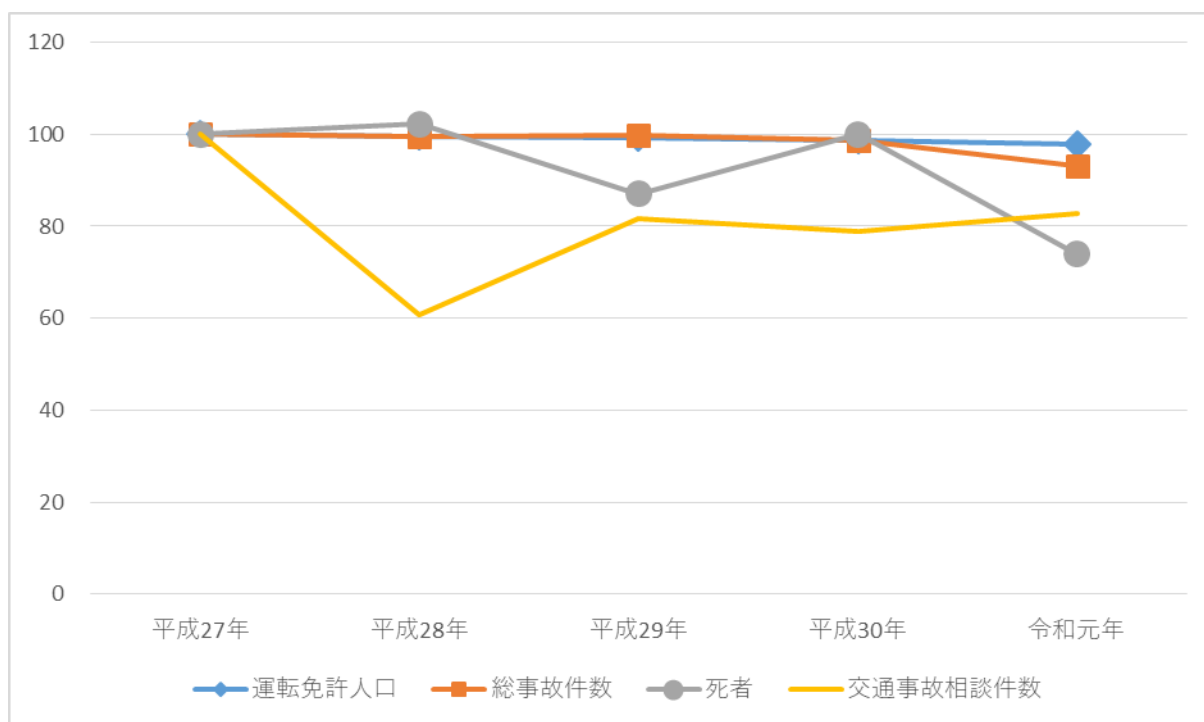
⑧ 市町村別交通事故相談受理件数

市町村 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率	
奈良市	6	10	9	9	10	9	8	18	12	6	10	15	122	35.0%	
大和高田市	2	1	0	1	0	2	1	1	0	0	0	2	10	2.9%	
大和郡山市	0	0	1	1	3	1	1	1	2	0	1	2	13	3.7%	
天理市	0	4	1	5	0	1	0	0	1	0	0	0	12	3.4%	
橿原市	6	4	4	3	5	4	4	6	5	3	4	3	51	14.6%	
桜井市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0.9%	
五條市	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	5	1.4%	
御所市	2	0	2	2	1	3	4	0	1	0	1	1	17	4.9%	
生駒市	1	0	0	1	0	2	0	1	1	2	0	0	8	2.3%	
香芝市	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	7	2.0%	
葛城市	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.6%	
宇陀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
計	18	20	18	24	19	22	20	28	25	11	17	28	250	71.6%	
山辺郡	山添村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
生駒郡	平群町	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	5	1.4%	
	三郷町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%	
	斑鳩町	1	1	0	0	1	0	2	0	0	2	1	2	10	2.9%
	安堵町	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	4	1.1%
	計	2	2	1	1	1	0	3	1	2	3	1	3	20	5.7%
磯城郡	川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0.6%	
	三宅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	田原本町	1	1	0	0	2	0	2	2	1	0	1	0	10	2.9%
	計	1	1	0	0	2	0	2	2	1	1	2	0	12	3.4%
宇陀郡	曾爾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	御杖村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
高市郡	高取町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	明日香村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
北葛城郡	上牧町	0	0	0	4	0	0	3	2	1	1	0	0	11	3.2%
	王寺町	1	0	1	0	0	1	2	1	2	1	0	11	3.2%	
	広陵町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.6%	
	河合町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6%
	計	2	0	3	4	0	1	5	3	3	4	1	0	26	7.4%
吉野郡	吉野町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	2	0	7	2.0%
	大淀町	0	1	0	0	0	0	0	6	1	0	0	2	10	2.9%
	下市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	黒滝村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	天川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	十津川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	上北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	東吉野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	0	1	0	0	0	0	2	6	1	3	2	2	17	4.9%	
住所不明	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	2	10	2.9%	
県外	3	0	0	4	2	1	2	2	0	0	0	0	14	4.0%	
合計	28	24	22	33	24	25	34	42	34	22	26	35	349	100.0%	

## 2 近年の交通事故発生状況

平成27年を100として推移を見ると、総事故発生件数は緩やかに減少傾向にある。死者数は平成30年には増加したが、令和元年は大きく減少した。

また、交通事故相談件数については平成29年からほぼ横ばいが続いている。



区分／年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総事故発生件数（件）	43,891	43,669	43,764	43,266	40,902
物損事故発生件数（件）	38,813	39,162	39,304	39,250	37,574
人身事故発生件数（件）	5,078	4,507	4,460	4,016	3,328
死者数（人）	46	47	40	46	34
負傷者数（人）	6,496	5,725	5,678	6,496	4,145
運転免許人口（人）	902,910	898,631	894,885	890,392	884,082
自動車台数（台）	804,877	806,834	807,800	807,665	808,245
交通事故相談件数（件）	422	256	345	333	349

※交通事故相談件数（件）は、年度（4月～3月）の件数

令和元年度

交通事故相談の概要

令和2年4月発行

奈良県交通事故相談所

(奈良県総務部知事公室 安全・安心まちづくり推進課)

〒630-8501 奈良市登大路町30

TEL 0742-27-8731